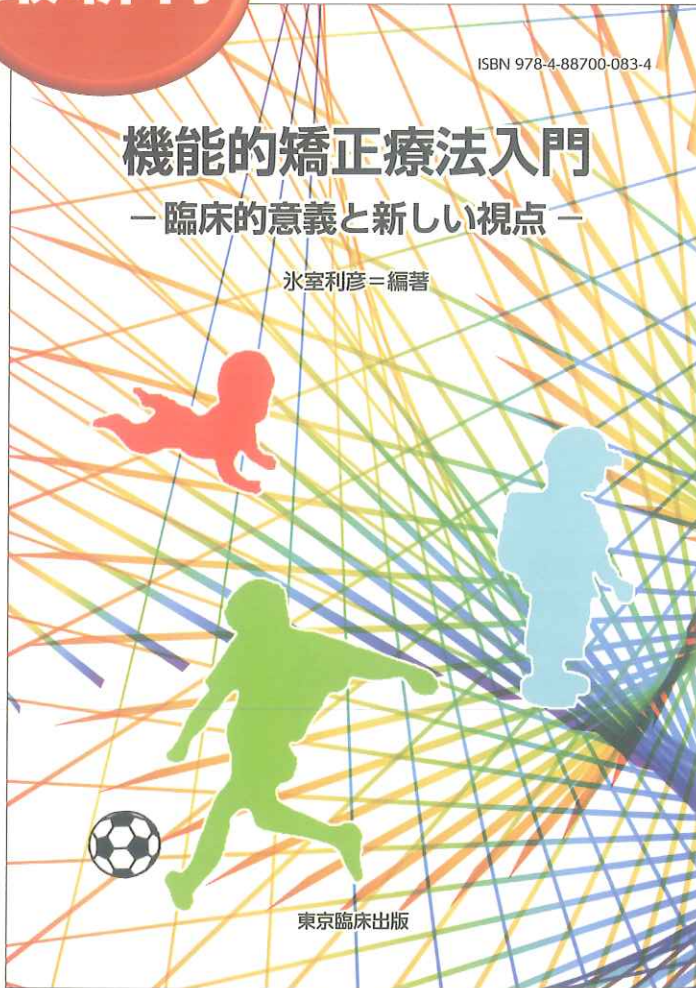


最新刊



● 口腔機能療法の可能性

およそ12歳ころまでにみられる

形態的、機能的、姿勢的な症状を改善する

さまざまな療法に焦点をあて、

機能の改善を実際的に解説する。

編著：氷室利彦

サイズ：A4判

発行元：東京臨床出版株式会社

発売元：(株)ロッキーマウンテンモリタ

〔定価〕8,000円+税

〔執筆者(50音順)〕

赤木秀瑛 (たい矯正歯科)

有田信一 (ありた小児矯正歯科)

石野由美子 (二子玉川ガーデン矯正歯科)

石野善男 (二子玉川ガーデン矯正歯科)

磯野史朗 (千葉大学医学部附属病院 麻酔・疼痛・緩和医療科教授)

岩崎智憲 (鹿児島大学大学院歯学総合研究科小児歯科学分野准教授)

大塚香織 (きくち矯正歯科)

菊地 誠 (きくち矯正歯科)

金 俊熙 (きむ矯正歯科クリニック)

峪 道代 (前 大阪府立母子保健総合医療センター口腔外科)

里見 優 (さとみ矯正歯科クリニック)

関崎和夫 (関崎歯科医院)

田井規能 (たい矯正歯科)

高谷理恵子 (福島大学人間発達文化学類人間発達専攻 人間・心理学系 教授)

中川綾子 (たい矯正歯科)

中村芳樹 (鶴見大学歯学部歯科矯正学講座教授)

長谷川大子 (はせがわこども歯科)

濱田充彦 (夙川グリーンタウン矯正歯科)

氷室利彦 (前 奥羽大学歯学部成長発育歯学講座歯科矯正学分野教授)

山崎要一 (鹿児島大学大学院歯学総合研究科小児歯科学分野教授)

お申し込みは、お出入りの歯科商店、または最寄りの(株)ロッキーマウンテンモリタまで。

12歳頃までの口腔機能の発達を育むために一。

はじめに
執筆者一覧

第1部 機能的療法の背景

1章 機能的療法の意義と評価

1. 小史、意義、セファロ分析の問題点
2. 機能マトリックス説から機能的矯正治療への臨床応用
3. 乳児閉塞性睡眠時無呼吸からみた機能的矯正療法の意義

2章 口腔の役割とコミュニケーション

1. 表情とコミュニケーション
2. 発音機能の評価
3. ビデオによる記録と評価

3章 乳幼児の成長発達

1. 乳児期初期における身体制御過程と発達
2. 咀嚼嚥下機能の発達
哺乳と離乳
育児支援、トレーニング

4章 成長発育段階と機能的矯正療法

1. 治療のタイミング
2. 歯列の成長発育
3. 顎関節の成長発育
4. 乳歯の異常と咬合の形成

5章 口腔機能の評価

1. 形態の評価
口唇
舌
小帯
鼻咽喉
2. 機能的評価
舌運動の評価
呼吸機能と乳幼児期の咬合異常
3. 画像評価
Fränkelのセファロ分析
三次元的画像評価

第2部 咬合異常と機能的療法

1章 上顎前突

上顎前突の機能的療法概説と症例

概説

症例1 ツインブロック装置によって口唇閉鎖と舌姿勢が改善された上顎前突症例

症例2 バイトジャンピング装置 (BJA) によって下唇の翻転と過蓋咬合が改善された上顎前突症例

2章 反対咬合 (Class III不正咬合)

反対咬合の機能的療法概説と症例

概説

症例1 早期にFRⅢを適用した症例

症例2 Dental StageⅢA期にFRⅢによる治療を開始した骨格性反対咬合症例

3章 開咬

開咬の機能的療法概説

4章 過蓋咬合

過蓋咬合の機能的療法概説

5章 低位舌

低位舌の機能的療法概説

6章 アデノイド、扁桃腺の肥大による気道障害

概説と症例

症例1 下鼻甲介およびアデノイド切除術後に反対咬合が自然治癒した症例

症例2 口蓋扁桃摘出術後に反対咬合が自然治癒した矯正歯科未治療症例

症例3 口蓋扁桃手術、アデノイド切除後に反対咬合が自然治癒した矯正歯科未治療症例

症例4 口蓋扁桃摘出術およびアデノイド切除術、矯正歯科治療を併用した骨格性反対咬合

7章 狭窄歯列弓

狭窄歯列弓の機能的療法概説

8章 クロスバイト

クロスバイトの機能的療法概説

※内容については一部変更が生じる場合があります。

「機能的矯正療法入門」申込書

氏名	
医院名 (大学名)	電話 () —
お届け先	
歯科商店名	